

9 「運営・体制の整備の方向性と方法」についての検討素案

1 方向性

史跡の保存と活用については、史跡の管理団体である市が行っており、今後も継続する。また、市民の協力や、関係団体との連携を図りながら計画を実施する。

2 方法

(1) 市内部及び関係組織との体制整備

教育委員会と市長部局等との間で情報共有するとともに、事業の内容によっては組織横断的な対応をとる。

(2) 市民との連携

仙台城跡におけるボランティアガイド活動への支援を行う。また、市民活動団体等との連携を図る。

